

第 36 回環境審議会 議事要旨

日 時：平成 31 年 3 月 27 日（水）10 時～12 時

場 所：大阪市役所本庁舎 屋上階（P1）共通会議室

議 題：大阪市環境基本計画」の素案について

出席者：（委員）上甫木会長、下田会長代行、市川委員、岡委員、島田委員、中野（隆）委員、西岡委員、花田委員、藤田委員、松田委員、山本委員
（事務局等）北辻環境局長、青野理事兼エネルギー政策室長、池上環境施策部長、岡本環境施策課長 他

配付資料：次第

資料 1 「環境基本計画改定スケジュール」

資料 2 「第 35 回審議会及び環境基本計画策定部会での意見要旨」

資料 3 「新たな『大阪市環境基本計画』素案の概要」

資料 4 大阪市環境基本計画の改定に向けて

資料 5 大阪市環境基本計画 素案

資料 6 大阪市環境基本計画 資料編

参考資料 1 「作文コンクールの優秀作品」

参考資料 2 「大阪市環境審議会規則」

【事務局説明】

・資料 5 により、大阪市環境基本計画 素案について説明

【委員意見】

「第 2 章 基本的な考え方」に対する意見

計画目標に関して

熱帯夜日数について、「注視する必要がある。」などを追記してほしい。

それぞれの計画を見ないと分からない計画目標値については、記載したほうがよい。

ある程度の数値的な目標や、期間的な目標を書いていく必要がある。

例えば、生物多様性と温暖化が結びつくのかとか、分かりにくいので、見えるようにしていただきたい。

環境基本計画は長期計画であり、おおまなか流れを書き込むしかないと思う。個別計画には数値目標や策定期間がそれぞれある。その関係性が見えてくるように、具体的な数値目標があげられるもの、あげられないものが見えるようになればよい。

達成できない目標を入れても仕方がない。

「第3章 基本的な施策の体系」に対する意見

「第1節 低炭素社会の構築」関係

帯水層の蓄熱エネルギーは省エネルギーの技術である。

見出しは「自然資源を活用した省エネ技術」としてはどうか。

再生可能エネルギーの活用は大切。波力や風力発電等を付け加えていただければ、環境に興味がわいてくる。

エコ住宅、Z E B・Z E Hの普及促進について、公共建築物における取組みを入れたほうがよい。

公共交通機関の整備と利用促進について、いまざとライナーの社会実験を盛り込んでどうか。

自転車の活用促進について、都市部において積極的に進めていただきたい施策の一つ。もう少し書き込んでほしい。

道路交通の円滑化について、カーシェアリングを含め、シェアリングというものについて、付け足す要素があれば付け足してほしい。

建築物の環境配慮について「環境にやさしい」は分かるようで分からないので、「環境に配慮した建築物(P22)」「環境に配慮した会場(P23)」に変更してほしい。

気候変動の適応に関する取組みについて、グリーンインフラを適応のところにしたらよいと思う。

「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」について、「住宅の購入時には省エネ住宅を購入します。」も入れるべき。

「第2節 循環型社会の形成」関係

「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に基づく取組みについて、「ペットボトル回収・リサイクルシステム」は2Rではなく、リサイクルではないのか。

「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」について、買い物を通じた取組みは、市民が身近に感じる。「買い物をするときは、再生品を選びます。」を加えては。

「第3節 快適な都市環境の確保」関係

生物多様性の保全について、数値的な目標など具体的内容を書いていただきたい。

「生物多様性の保全」は基盤となるので、そこをしっかりと位置付けしてもらいたい。

緑化の推進だけでなく、「緑化の保全」にも力を入れるべきと考えており、そのような表現が必要である。

数値目標も含めて、どうやって緑を増やすのかといった具体的な取組みが書けた

ら、緑に力を入れているメッセージにもなる。

干潟が CO₂ 吸収源として注目されつつある。水辺空間を CO₂ 吸収源として捉え
るとよい。

「地域主導の景観まちづくり」に「環境に配慮した」という文言を入れてもらいた
い。

微小粒子状物質 (PM_{2.5}) や光化学オキシダントは、大阪市だけでは対策が難しい。
大阪市は、原因物質の発生源対策に力を入れていただきたい。

「第4節 地球環境への貢献」関係

地球環境への貢献について、国際的にいろいろなところで地球環境に貢献してい
くと書かれている一方で、大阪でやるというところがここでは見えてこない。

大阪にある企業で開発途上国に貢献するような、しかも SDGs の目標達成に寄与
するようなビジネスというのを大阪市が後押しするようなことを書くと、企業の勇
気になる。

「第4章 施策展開の戦略」に対する意見

「具体的な取り組み例」について、1 点目に「帯水層蓄熱などの未利用エネルギー」
とあるが、P20 では帯水層蓄熱は「自然エネルギー」と記載されており齟齬がある。

「第5章 計画の進行管理」に対する意見

うめきた開発事業が SDGs や横串を入れることでどうなるのか、分かるような絵
が一枚あると理解しやすい。

分野別・課題別の個別計画に位置づけられている施策・事業は、「第3章」でその
旨も明記すれば、環境基本計画と個別計画の整合がわかりやすくなる。

環境基本計画は、個別計画にも横串を通す計画ということなので、個別計画の数値
目標や改定スケジュール等も盛り込んでほしい。

「大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における効果検証の仕組みを、環境基
本計画の施策効果の検証にも活用するということなので、本計画に、同戦略の環境
分野の指標・目標値を分かりやすく示してほしい。

計画全体に対する意見

将来の大阪市の姿を考えながら計画を組み立てていただきたい。地域循環共生圏の考え方を踏まえて施策を考えてほしい。

生産活動と環境問題をいかに結び付けていくかが難しいという意見が見受けられる。

事業者団体に個別に説明を行うなど、事業者からの意見を聴取し、計画への反映に努めてほしい。

小学生作文コンクール作品を活用については、大人の目線で読み替えず、子どもの感性をそのまま活かすとよい。

「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」に記載の内容について、個人レベルで取り組むことに限定するべきである。

計画の表現について、読みやすくするため、イラストや図等を加えるべきである